
第2回 映画英文法ワークショップ

日時： **2010年5月8日（土）**
12:30pm～18:00PM
（12:00pm 開場）

会場： **京都外国語大学 1号館 171 教室**

主催： **映画英語教育学会（ATEM）関西支部**
後援： **映画英語教育学会（ATEM）**



The **A**ssociation for Teaching **E**nglish through **M**ovies

プログラム

総合司会： 倉田 誠 (ATEM 関西大会実行委員長兼副支部長・京都外国語大学)

<研究発表>

司会： 倉田 誠 (京都外国語大学)

- | | | |
|--------------------|--------|------------------|
| 12:30-13:00 | 研究発表 1 | 衛藤 圭一 (帝塚山大学・非) |
| 13:00-13:05 | 休憩 | |
| 13:05-13:35 | 研究発表 2 | 石川 弓子 (大阪大学) |
| 13:35-13:40 | 休憩 | |
| 13:40-14:10 | 研究発表 3 | 三村 仁彦 (関西学院大学・非) |
| 14:10-14:15 | 休憩 | |
| 14:15-14:45 | 研究発表 4 | 野中 泉 (国際医療福祉大学) |
| 14:45-14:50 | 休憩 | |
| 14:50-15:20 | 研究発表 5 | 吉川 裕介 (佛教大学・非) |
| 15:20-15:30 | 休憩 | |

<シンポジウム>

テーマ： 認知言語学で読み解く映画の英語 ―中・高・大の授業の活性化をめざして―

司会： 横山 仁視 (京都女子大学)、平井 大輔 (近畿大学)

- | | |
|--------------------|--|
| 15:30-16:00 | 野澤 元 (京都外国語大学) 「構文としての文法学習」 |
| 16:00-16:30 | 渋谷 良方 (京都外国語大学) 「メタファと言語の学習： 認知モデルと文化モデルの観点から」 |
| 16:30-17:00 | 進藤 三佳 (京都大学・非) 「意味変化に見る認知プロセス： 感覚描写から思考描写、そして強調的表現へ」 |
| 17:00-17:05 | 休憩 |
| 17:05-17:55 | 中島 千春 (福岡女学院大学) 「You Don't Know It と You Don't Know That はなぜ違うのか？」 |
| 17:55-18:00 | 閉会の挨拶
藤枝 善之 (ATEM 関西支部長・京都外国語短期大学) |
| 18:10-20:00 | 支部交流会 (11号館 2階ラウンジ)
司会： 倉田 誠 (大会実行委員長)
挨拶： 藤枝 善之 (支部長) |

研究発表概要

● 「迂言的法助動詞の使用に関する一考察」

衛藤 圭一 (帝塚山大学・非)

発表概要：

迂言的法助動詞は、法助動詞と異なり、たとえば屈折変化を受けるといった統語的な点がよく注目されるが、本発表では、意味論の観点から迂言的法助動詞の使用に関する考察を試みたい。たとえば、通例 be bound to と must は同義とされるが、どのような場合に話し手は前者を使用するのかを、映画に生起する場面を通じて検証する。

● 「映画で学ぶ形態論 一語レベルの階層性と移動に着目して一」

石川 弓子 (大阪大学)

発表概要：

本発表では、語レベルの階層性の理解する上で重要な第1類接辞と第2類接辞の違いを、語基のアクセント位置への影響の有無に着目し、映画を用いた指導例を紹介する。また、English grammarian には「イギリス人の文法家」、「英文法の研究家」という2つの解釈があるが、後者の解釈は[[English grammar]-ian]のように接辞が複合語に付加せねば得られないため、形式と意味の不一致が観察される。この不一致の解消のため、解釈の際に語の内部のレベルで移動が起こると考えられている。この現象についても映画を用いた指導例を紹介し、形態論を学ぶ上で映画を用いることの有効性を論じる。

● 「Know your Right from your Left」

三村 仁彦 (関西学院大学・非)

発表概要：

一般疑問文における be 動詞や助動詞の前置に代表されるように、文中の要素を左方向へ移動する文法操作は日本人学習者にも馴染みのあるところである。しかし、一定の条件さえ整えば、要素を右方向へ移動することも可能であることはあまり知られていない。本発表では、このような右方向への移動を伴う構文を複数取り上げ(右方転移、重名詞句転移、名詞句からの外置など)、そのはたらきを考察するとともに、映画における使用例を紹介する。

● 「映画を使った音声指導」

野中 泉 (国際医療福祉大学)

発表概要：

日本人学習者が英語のリスニングをする際に大きな障害になるのが、英語特有の音変化である。日本語にはない音変化が原因で生じる「わけのわからない音のかたまり」が学習者を悩ませる。しかしその音のかたまりはいくつかの音変化のルールが複合的に生起してできることを理解し、その音を多聴し、自分でも言ってみる、というこの3段階を経ることが、この壁の克服に有効と考える。そこで映画をリスニング指導あるいは学習に使用することで、このボトムアップ・プロセスの聴解力をいかに効率的にかつ網羅的に養成できるかを考察してみたい。

● 「映画から読み解く one's way の意味と機能」

吉川 裕介 (佛教大学・非)

発表概要：

Way 構文は目的語位置に one's way を伴い、構文全体で「困難性」を含意するとされる。本発表では映画に現れる way 構文を観察することにより、one's way がどのような意味機能を果たしているのかを明らかにする。具

体的には、one's way が示す語彙的意味は「進路・進行」ではなく「道程」である点を実証的に論じ、構文的意味の「困難性」は one's way の意味機能からもたらされる副次的な意味である点を指摘する。更に、way 構文に生起する経路句の省略は、動詞と one's way の意味関係に起因する現象であることを指摘する。

シンポジウム発表概要

●「構文としての文法学習」

野澤 元 (京都外国語大学)

発表概要：

多くの文法の授業では、「主語の次は動詞」といった一般規則と、It to 構文のようなひな形は、別物として教えられる。そして、特に後者は暗記の対象とされる。しかし、認知言語学では、あらゆる文法を構文の体系化された知識と見なし、規則としては説明しない。映画 *Life of Brian* (1979) に見られる特異な構文を例としながら、構文としての直感的な文法学習がどのような姿であり得るのか、その可能性について論じる。

●「メタファと言語の学習： 認知モデルと文化モデルの観点から」

渋谷 良方 (京都外国語大学)

発表概要：

Our relationship has hit a dead-end street. (私たちの関係は袋小路に突き当たった)、It's been a long, bumpy road. (長く険しい道だった)、We can't turn back now. (私たちはもう戻れない)、This marriage is on the rocks. (この結婚は暗礁に乗り上げた) という英語表現は、「人生」が「旅」の知識に基づいて理解されている「メタファ」である (Lakoff 1993: 206)。本発表では、メタファを通じた「認知モデル」と「文化モデル」の理解が、言語の学習にとっていかに重要であるのかについて論じる。

●「意味変化に見る認知プロセス： 感覚描写から思考描写、そして強調的表現へ」

進藤 三佳 (京都大学・非)

発表概要：

認知言語学では、日常言語のかなりの部分は、外部世界の客観的な反映ではなく、私たち人間の身体性や創造性に根ざす主観的な認知プロセスを介して構築されていると考える。本発表では、メタファー、主観化といった認知プロセスが、語彙の意味変化の実際の過程に現れている例として、英語の形容詞・形容動詞、clear/clearly を取り上げる。その歴史的意味変化を観察し、最近の映画の中の登場人物の発言に、その意味のありかを探る。

●「You Don't Know It と You Don't Know That はなぜ違うのか？」

中島 千春 (福岡女学院大学)

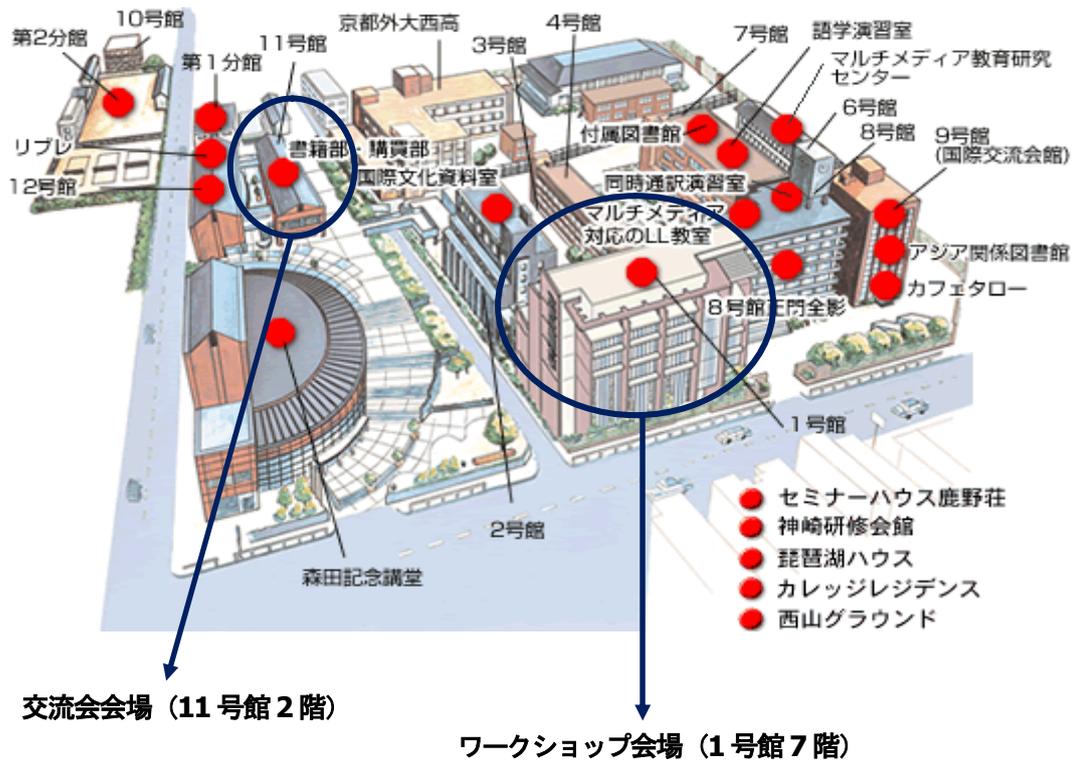
発表概要：

Loraine: Shut your filthy mouth. I'm not that kind of girl.

Biff: Well, maybe you are and you just don't know it. (*Back to the Future*)

ここでは、ピフのセリフ中の it は、that で置き換えることはできない。なぜであろうか？本発表では、映画のシーンから it/that の様々な用例を取り上げ、2つの指示表現の使い分けが何に起因するのかについて、2つの認知モードという観点から説明を試みる。

会場校キャンパスマップ



【お知らせ：大会参加費について】

会員・非会員とも大会参加費は無料です。

どなたでも自由に参加できます。ご来場をお待ちしています。

【お知らせ：支部交流会について】

ワークショップ終了後には、交流会（有料：4,000円）を予定しています。

様々な映画や英文法に関して、楽しく情報交換ができる場です。

当日、受付で申し込みをしています。是非、ご参加ください。

【お知らせ：『スラムドッグ\$ミリオネア』をプレゼント】

中・高の先生方の参加者で先着 20 名様に、スクリーンプレイ・シリーズ『スラムドッグ\$ミリオネア (Slumdog Millionaire, 2008)』を差し上げます。

会員登録のお知らせ

新会員申込は本部 HP (<http://www.atem.org/pg113.html>) 「会員登録」から

氏名、住所、電話・FAX、E-mail、勤務先、所属/職業を明記し、
電話・FAX または E-mail でお申込みください。

※会員名簿は発行していません。

申込先： 映画英語教育学会 事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-12 アルク高田馬場 4F
株式会社 広真アド内
TEL: 03-3365-0182 FAX: 03-3360-6364
E-mail: office@atem.org

第 8 回関西支部大会のお知らせ

「映画英語教育学会関西支部 第 8 回大会」を以下の日程で開催します。

- 開催日： 9 月 25 日 (土)
- 場所： 近畿大学
- シンポジウムテーマ： 「映画『シェーン』 徹底活用法」

研究発表希望者の公募は、6 月上旬に支部ホームページ (<http://www.atem.org/kansai/index.html>)
上で案内募集します。

これまでの ATEM 関西支部大会シンポジウムテーマ

【映画英文法ワークショップ】

2009年5月9日	映画英文法ワークショップ 第1回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「英語の時制表現に関する一考察」
-----------	---

【支部大会】

2002年9月14日	映画英語教育学会関西支部設立決起大会開催（於：京都外国語大学）
2003年9月14日	映画英語教育学会関西支部 第1回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「怪物映画に学ぶドラキュラ vs フランケンシュタイン vs スパイダーマン」
2004年6月26日	映画英語教育学会関西支部 第2回大会開催（於：京都外国語大学） ●シンポジウム：「"Working Girl" 徹底活用法」
2005年9月18日	映画英語教育学会関西支部 第3回大会開催（於：京都女子大学） ●シンポジウム：「"DAVE" 徹底活用法」
2006年10月21日	映画英語教育学会関西支部 第4回大会開催（於：大阪工業大学大宮キャンパス） ●シンポジウム：「"I am Sam" 徹底活用法」
2007年10月20日	映画英語教育学会関西支部 第5回大会開催（於：摂南大学） ●シンポジウム：「"The Devil Wears Prada" 徹底活用法」
2008年10月18日	映画英語教育学会関西支部 第6回大会開催（於：京都ノートルダム女子大学） ●シンポジウム：「"Anne of Green Gables" 徹底活用法」
2009年09月26日	映画英語教育学会関西支部 第7回大会開催（於：帝塚山大学学園前キャンパス） ●シンポジウム：「"LITTLE MISS SUNSHINE" 徹底活用法」

ATEM Kansai

<http://www.atem.org/kansai/index.html>

映画英語教育学会（ATEM）関西支部

事務局：京都女子大学外国語教室

横山仁視研究室内

yokoyama@kyoto-wu.ac.jp